

サロン 登美ヶ丘茶論(12)

2020年12月



◆ げ 実にも南方に未だ招かれざる魂有り

あれは私が小学校5年生だった昭和26年のことだったと思う。新学期になった四月から同じクラスに沖縄から来た少年が入ってきた。多分、彼のお父さんが米軍の軍属で米軍の都合で父親が大阪に来たので連れられて来たのだろう。四月の時点でも顔も頭も手足も黒く日焼けしていて、あまり風呂(その頃は銭湯)にも入らないようで、いつも垢染みてもいた。彼の父は昼間は働きに出たので、家では彼一人、今でいうカギッコだった。

母が働きに出ていて昼間は同じくカギッコだった私とよく遊んだ。嘎れは学業の方はあまり振るわなかったところでも私と同じだった。地面の冷たさが消えた五月くらいからは、二人とも裸足で走り回っていたが、裸足走りは彼のほうが年季が入っていて、彼の足の裏を見たら、皮が分厚くて、固くなった餅を焼いたように罅割れができていた。「痛くないか」と尋ねたら、「ずーとこうやから痛くない」との答えで、それにも驚いた。

学業は振るわなかった彼だが、国語の時間に彼が書いた作文に、「家から近い海の砂浜に行って砂を掘ると、今でも白い骨や赤く錆びた鉄砲や大砲のタマが出てきます」と書いていて、それには心を動かされた(意外や字は私よりずっと綺麗な字を書いた)。彼は父親の都合だったのだろう、十月には学校を去ったが、今に至るまで強烈な印象を残してくれた。

二十歳前後になって、杜甫の詩の中の「実有南方未招魂」(ゲにも南方にはイマダ招かれざるタマシイあり)の句を知って、人ごとではなく、我々のことだと思った。(この句自体は、屈原とその与党をいたんだ句だが)。

今、政府は普天間基地建設で、激戦地となった沖縄南部からの土砂を埋め立てに使おうとしているが、その中には多数の遺骨が含まれている可能性が甚だ大である。遺骨に魂があれば(私宮田は真宗門徒にして materialist[唯物論者-編集者]だから、骨は骨と思っているが、多くの人はそうは思わないだろう)、再び米軍の犠牲にされるのは恨みの極だろう。ことは遺跡を発掘するように丁寧細心にして欲しいと思います。(宮田)



くつげん (屈原で連想するのは僅かに、高校生のころ漢文で読んだ「屈原既に放たれて江潭に遊び…」という語句く

らいのものだ。PCで調べると、これは「楚辞」の中の「漁父」という題の詩らしい。思えば、落ちこぼれの私は、古典落語の「ちはやぶる」の話にも似て、「放たれて」を「洩垂れて」などと茶化す不真面目な生徒だった。この「未招魂」の詩の題名も含めて杜甫の「楚辞」について宮田さんに簡単な註を付けて欲しかった。

ところで、防衛省は4月、埋め立て用土砂の採取地に沖縄本島南部を追加する決定を下した。12月10日日本宗教者平和協議会、日本カトリック正義と平和協議会、平和をつくり出す宗教者ネットなど6団体が呼びかけ、賛同16団体、宗教者306人が、沖縄戦の遺骨が今も残る土を沖縄新基地埋め立てに使うな、という共同声明を出した。記者会見では、「ウチナンチュウ(沖縄人)は死んだ後もいじめられる。愚弄としか言えない」(平和を実現するキリスト者ネット事務局代表)と訴えました。我が政府は、こんなこと屁とも思わない冷血集団なのだ! 学者いじめと言ひ、健保窓口負担倍増の高齢者いじめといい… [編者から]

自助共助だったら政治家いません 村度に続けと俯瞰流行りだし 言うかもなファシズムそれはあたらない

多様性大事と言って排除する

俯瞰的見える範囲は個人的

「好かんから外してやった」言っちゃえば

予算委は官僚不在じゃ出来やせん

学者にも村度求める任命権

議事堂の下手な朗読聞かされる



◆ 一向に衰えない新型コロナの勢い、第3波で「医療崩壊」の様です

* 大臣も知事も現状分析まとめだけ、ひたすら自助の対策を言う。

* 人と「会わず、話さず、食事せず」それって「ひきこもり」じゃないかい？

* イージスアショアからイージス艦へコロナに隠れ軍費倍増かい？（ゴーツートラブル）

皆様今年1年お世話になりありがとうございました。改めて僕は誓います。

『私たちは世界の平和を実現するために武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては永久にこれを放棄します。そしてこの目的を達するため軍隊などの戦力は保持せず、集団自衛権を含めて国と国との交戦権は認めません』

来年は戦後76年、ずっと戦後でありますよう私の九条を守りたいと思います。（秋山）

◆ 「近事片々」—政治・行政・国会の過失行為日々多し。因は選民に有りという。我々国民の監視の目指し日々怠ることなかれ

・東京タワーのように赤く染まった通天閣が、全国に警告する。大阪府、医療崩壊危機で外出自粛要請の赤信号。（12/4）

・そんな中、こちらはいつまで青信号。政府、Go To トラベル来年6月まで延長へ。（12/4）

・重症者500人越え。言葉が躍る「勝負の3週間」。首相の本気度は見えてるか。（12/5）

・もっと働かねば。野党の延長要求にも耳かさず。与党は国会を閉幕。コロナ対策「勝負の3週間」はどうした（12/7）。

・そりゃそうでしょう、政府がGo To なんだから。「勝負の3週間」、人出減らず。（12/9）

・原稿棒読み、質疑打ち切りの菅首相記者会見。「丁寧な説明」「当たり前のことを実行」の約束どこに。（12/5）

・それにしても、まるで文書朗読会。先週末の首相記者会見。あり方の議論が必要だ（12/7）。

・それこそ「不要不急」がまぎれこんでないか。国土強靱化や「経済構造転換」などで膨れた政府の追加経済対策。（12/8）

・配備断念の「イージス・アショア」に代わり、新型イージス艦2隻導入へ。コスト、要員…針路は視界不良。（12/9）

・国会閉会中、専守防衛との関係、深く論じられぬまま。長距離「スタンドオフ」ミサイル開発に動く。（12/11）

・結局、足して2で割ったのね。高齢者医療費の負担増、決着したが、理念はありや。（12/10）

・東京地検の捜査に「誠意持ち対応」と安倍さん。国会での説明には否定的。ただけぬ「誠意」の使い分け。（12/5）

・学術会議へ自民提言。「自主的な財政基盤」を求め、「同質的な集団」と批判。皆さんは、政党交付金に頼らず、同質的でもないんですよね？（12/10）

・聞く耳持たぬなら、学者の提言も価値を失う。届いているのか、「感染急増地域の移動抑制」繰り返す声。（12/10）

・震災遺児世帯の所得が激減。コロナの影響も。目配りする先を間違っていないか。（12/10）

（mhさんが投稿して下さった、「毎日」タ刊1面題字下の「近事片々」のスクラップから）

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください：石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、羽谷(中登美 4-1 ローレル I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)

登美ヶ丘九条の会



国民はみんな知ってる拒否理由

川柳もチェックしてそう内閣府

この国を危険にしてもやる五輪

国会で朗読学ぶ新首相

核の傘なければほんとダメだろか

核兵器禁止反対被爆国